

2020年2月11日 日本保育学会会長 汐見稔幸 氏 講演会



参加者の内訳と人数一覧

A.短期大学、大学、大学院、専門学校  
教員

申し込み者：56名、参加者：51名、  
欠席者：5名

B.幼稚園、子ども園、子どもの家、自  
主保育グループ

申し込み者：76名、参加者：68名、  
欠席者：8名

C.保育園、その他の児童福祉施設、社  
会福祉法人

申し込み者：255名、参加者：249  
名、欠席者6名

D.一般、役所関係、医療関係

申し込み者：46名、参加者：45名、欠席者1名

F.大学生

申し込み者：10名、参加者：10名、欠席者0名

G.当日申し込み者 10名

申し込み者：443名

参加者：423名

欠席者：20名

当日申し込み参加者：10名

講演会参加総人数 433名

# 「今、なぜモンテッソーリなのか？」 講演要旨

2020.2.11 汐見稔幸 (東京大学名誉教授・日本保育学会会長)

## 1. 現在の教育、その成果と課題

### ①日本の学校のこれまで

- ・きちんと席に座りましょう。朝会では、列を乱さないで並ぶんですよ。
- ・先生の言うことをよく聞いて、質問に答えてください。
- ・試験範囲は、教科書〇〇ページから△△ページまでです。頑張りましょう。
- ・数学の公式は必ず覚えておきなさいよ。・・・

### ② こうした教育で子どもに育ったもの

- ・集団、全体の秩序を守ることが人間には大事だという感覚。
- ・先生のいうことや教科書に書いてあることが正しいこと。それを理解してできるだけ正確に覚えていくことが「勉強」だという教育観、学習観。
- ・指示を正確に理解して、その指示通りに行動することが人生では大事だという感覚
- ・たくさんの知識や答えの導き方を覚えている人がよくできる人だという優秀観
- ・学校に行き勉強するのは自分の将来の生活を有利にするためだという教育観・・・

### ③ その成果は？

- ・大きな企業には好都合な人材が育った。
- ・指示を正確に理解して、指示されたことをていねいにやりきる人材が育ったから。
- ・受験の大変さを体験したことが、企業の中での無理難題を克服する練習に。

### ④ 課題は？

- ・何のために学ぶのか、ということが真理の世界に近づきたいからとか、すぐれた市民になりたいから、というように、大いなるものを目標にすることが弱く、個人主義化。
- ・受験は競争に勝つ練習にはなったが、人と深く協同する、人と深く交わる練習はあまりできなかった。→対人関係が苦手という人を多く育ててしまった。
- ・世界に正解なるものがあるという感覚を育ててしまった。実際の世界には「正解」なるものはほとんどない。あるのは仮説であり考え方。その相互交流が知性であり教養。
- ・真理はひとりでは見つからない。二人以上いるときに見つかる、という真理観を育てられなかった。

- ・知識は本当は全部つながっている。それは世界が一つだから。しかし、世界は一つであり、その全体のあり方が部分のあり方と深く関係しているという認識力を育てきれなかった。世界を統合する視点をうまくはぐくめなかった。

## 2. つぎの人達に共通することは何でしょうか。

- ・モーセ
- ・イエス
- ・スピノザ
- ・ショパン
- ・マルクス
- ・フロイド
- ・アインシュタイン
- ・ビル・ゲイツ
- ・スティーブ・ジョブズ
- ・ラリー・ページ
- ・ポール・サミュエルソン
- ・ミルトン・フリードマン
- ・ノーム・チョムスキー・・・
- ・総人口 1200 万人、世界人口の 0.2% に満たない。
- ・しかし、ノーベル賞の 22% は・・・

## 3. なぜユダヤ人は優秀か・・・正確には分からないが・・・

### ① その最大の理由は、教育の仕方にある、といわれる。

#### その方法と原理

- ・教育は 3 歳頃から、本格的には 5 歳から
- ・ユダヤ教の内容を教えられる。祈祷書の暗記。音唱している内に暗記
- ・7 歳頃からタルムードの学習が始まる
- ・学校は少人数で組織 異年齢で、が多い・・・

### ② 別の言い方をすると

- ・幼い頃から、抽象度の高い文言と積極的にふれることを重視する教育
- ・まずは音唱と暗記→知的な構えづくりを優先させる。日本の武士の教育と共通
- ・正解主義と異なる。正解はないとする姿勢。神の世界を知るには、絶えざる学びが必要とする姿勢で学ぶ。安易なゴールがない。
- ・タルムード：答えのない問題提起、人生の機微を問う内容、年齢に応じて、経験に応

じて分かり方が深まる内容。学びの奥深さを示唆する内容の学び。

- ・ていねいな討議。
- ・教師の生徒への尊敬感

#### 4. 現代日本の教育の行き詰まり

- ① いじめ不登校が急増→学校がストレス要因になっていることの反映
- ② 対人関係への不安感、消極的姿勢が目立つ若者
- ③ 留学生の数が唯一減っている国に
- ④ 平成時代に、世界をリードするICT（情報通信テクノロジー）系企業を生み出せなかった国
- ⑤ スエーデンのグretaさんに呼応した高校生の運動が起こらなかった国
- ⑥ SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みが教育の世界できわめて不十分な国・・・
- ⑦ OECDのPIISA（国際的な学力達成度調査）調査で読解力7位から15位に大きく後退

#### 5. 学校と教育は変わらなければならない

- ① 正解主義ではなく、適切解 創造主義へ
- ② そのために、幼い頃から、頭と心と身体を使って探求すること大好き！という子を
- ③ 探求の素材を求める場を乳幼児期から
  - ・ 日常の生活の中であれこれに興味もって調べる
  - ・ 基礎的な思考の枠組みを頭にきっちりつくる練習
- ④ バラバラな知識ではなく、世界観的に統一された知識を
  - ・ とくに、SDGsの時代には、全体性と地球人であることを重視する
  - ・ ダイバーシティとインクルージョンとの重視
  - ・ 共生することを求める知性

・市民的知性へ

## 6. 以上をふまえて、モンテッソーリ教育への期待

### ① 改めて原理の確認と共有を

自育的生命、自分で自分を育てることの応援・支援

そのためのすぐれた環境づくり

幼児期に、思考する土台をていねいに育てていく原理

主体性を重視する原理。遊び的感觉で学ぶこと、遊びの捉え直し

敏感期の重視と創出

宇宙から、そして人類史から 人間を捉える大きな座標軸を育てる原理

教えよりも探索を重視する教育……

(世界中で最も多く取り入れられている教育内容・方法)

### ② 幼児教育だけでなく、小学校以降の教育をモンテッソーリを原理に展開していく時代に

・全国で新しい小学校がうまれている・・・イエナプランが多い

広島

長野

・自治体を巻き込んで、ぜひ進めてほしい

以下メモ